

角川書店のライトノベル誌『ザ・スニーカー』が、28日発売の4月号で休刊することが明らかになった。『ザ・スニーカー』は1993年4月創刊。「涼宮ハルヒの憂鬱」など多くのヒット作を生み出した。

現在、隔月刊となっているが、部数は2万部以下で、プリントメディアとしてはほぼ役割を終えたと言っている。ライトノベルを読むティーン層はケイタイに移行してしまい、かつて読んでいた層はみな大人になってしまった。今後は、「ウェブの活用や電子書籍での展開」を考えていくというが、角川としては「BOOK☆WALKER」などでの活路を見出していくものと思われる。

